

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2019年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第2回講義

## 北海道観光 未来への戦略

(株)北海道二十一世紀総合研究所調査部・特任審議役  
木本 晃 氏

### 木本先生からのメッセージ

- 人口減少が続く中、交流人口を増やし、消費を喚起し、稼いだお金を地域で循環させることが求められています。その手段のひとつが『観光』です。
- 一方、地域の観光資源を十分に活用するためには、交通ネットワークの充実や新たな情報技術の活用、既存のシステムの改善、生産性の向上が必要です。
- 2045年、北海道の人口は400万人と予想されます。それまでにわたしたちは何をしなければならないのでしょうか。外国人観光客を受け入れる戦略の先には、地域の存続がなければなりません。
- 北海道は困っているのです。困っていることを解決するのが『科学技術』の役割ではないですか？
- 2045年に向けて、これから何をすべきだと考えるのか、『未来への戦略』をお話します。どうか、みなさんのお力をお貸し下さい。北海道の開発こそが日本を豊かにすると考えています。

日時:

2019年4月12日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所:

工学研究院

オープンホール

[B-201]

木本 晃 先生

北海道出身、昭和58年北海道大学工学研究科建築工学専攻修士課程退学。

北海道入庁、建設部住宅局住宅課長、総合政策部交通政策局新幹線推進室長、同部航空局長、経済部観光振興監の勤務を経験され、平成30年4月から現職。

工学部出身であることを活かし、観光政策はもとより、より幅広い分野において科学技術政策の重要性を広めています。

担当:工学系教育研究センター 矢久保考介教授  
内線:7163 Mail: ceed-ind@eng.hokudai.ac.jp